

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
令和 5 年度 第 2 回 松川町総合教育会議
- 2 開催日時
令和 6 年 2 月 20 日（火） 午後 1 時 15 分から午後 3 時 00 分まで
- 3 開催場所
松川町役場 協議会室
- 4 出席者氏名
〔松川町総合教育会議構成員〕
北沢町長
松川町教育委員会 小平教育長、教育委員 4 名
〔事務局〕
総務課 米山課長、西浦係長
教育委員会事務局 中村こども課長、高根生涯学習課長
- 5 議題（公開又は非公開の別）
（1）令和 5 年度 実施事業の評価について（公開）
（2）令和 6 年度 基本方針と主な取り組みについて（公開）
（3）その他（公開）
- 6 非公開の理由（会議を非公開とした場合）
—
- 7 傍聴人の数
0 人
- 8 会議資料の名称
令和 5 年度第 2 回松川町総合教育会議次第
資料 1－1 令和 5 年度教育委員会重点事業に関わる評価と反省
資料 1－2 不登校関係（非公開）
資料 1－3 令和 4 年度不登校の状況（非公開）
資料 2－1 令和 5 年度全国学力・学習状況調査 松川町の結果報告（非公開）
資料 2－2 令和 5 年度全国学力・学習状況調査（質問紙調査） 松川町の

結果報告（非公開）

資料 2－3 全国学力学習状況調査 結果（非公開）

資料 3 第 2 回教育懇談会記録

資料 4 令和 6 年度松川町教育委員会重点方針

9 審議の概要

（１）開会 （事務局）

（２）挨拶 （町長、教育長）

（３）協議事項

①令和 5 年度 実施事業の評価について

教育長より資料（１～３）を基に説明

【質問・意見等】

- ・教育委員会の考えと学校現場の考えとで温度差を感じる。資料 1-1、P13 の図（生徒の評価から見る学校運営の成果）の資料から授業へ満足していない生徒が多いと感じる。また、資料 1-1、P16 の図（学校教育活動の充実のために地域との連携）から地域との連携について生徒に比べ教師の方が必要性を感じていない傾向であり、教師の郷土愛の醸成が課題である。
- ・児童生徒が「面白い」と感じ、前向きに取り組める授業を期待したい。学力の状況については、教師の経験値等も影響しているかも知れない。経験値が授業内容の充実等に影響することは否めない。
- ・学校と地域が連携することが大切であることは理解しているが、業務多忙ななかで教師等が休日に地域イベント等に参加（参集）することは地域の方達にも理解してほしいと感じる。
- ・教育のことについては学校現場に任せているという感覚で、実際の現場の様子はわからない、資料を見て知らないことが多いと感じた。課題等もあり、もっと行政が関わるべきなのか。保護者にとって学力の状況は気になる点ではないか。
- ・地域との関わりについて、なかなかできていないという状況は先生達も本意ではないかと。先生たちの業務負担を軽くするようなサポート体制が必要。

・不登校について、時期等あるのか。

→資料から 2 学期以降ではないかと推測する。1 学期はがんばるが、2 学期以降で不調等になってしまうのでは。1 年生と 4 年生で多い傾向である。自然保育で（自由に）過ごしてきた子どもにとって集団生活に馴染めない子もいる。また、ひきこもりではないが、保護者の教育方針等でフリースクールに通わせる場合も不登校の人数に換算（欠席 30 日）されてしまう場合もある。福与保育園は普及型の自然保育であるので、他の保育

園と同様の保育内容もしていることでスムーズに集団生活に馴染めている。

- ・児童館の運営について。厚生員の雇用問題、雇用してもすぐ辞めてしまうということの繰り返しだと体制維持に係る担当の負担が大きい。民間委託という選択についてはどうか。

→過去研究したことはあったようである。

- ・ボランティアで預かることはできないのか。
- ・子どもの居場所づくりについて、民間で取り組んでいる活動もあるようであるが費用等はどうなっているのか。補助金などを活用して運営しているのか。

→保護者からは保険代など、少額しか負担してもらっていないのではないのか。

- ・単純に学校に残ることはダメなのか。

→児童が下校時間以降も学校内に留まることは、学校内での安全管理に配慮しないといけない先生達の負担(何かあったら対応しないといけない)などで不都合がある。

②令和6年度 基本方針と主な取り組みについて

教育長より資料4を基に説明

- ・今年度の内容から大きくは変更していない。

【質問・意見等】

- ・検定の対策講座については多くしたいと考え予算付けも配慮させていただいた。
 - ・英検について松川町では自己負担1,000円で受検できる仕組みがあり、ありがたい。
 - ・松川町として信州大学が事務局である「信州DX推進コンソーシアム」に参画したいと考えており、教育現場へもデジタル技術を活用した施策に取り組みたいと考えている。
 - ・来年度保健福祉課内へこども家庭センターが設置されることで、子育て支援を充実させていきたいと考えている。職員体制についても検討中である。
 - ・見識を深めるための視察など教育委員会で実施することはあるのか。
- 過去には実施したことや計画したこともあったが、ここ数年はコロナ過などで実施できていない。今後は実施していきたいと考えている。

⑤ その他

【意見等】

- ・学校環境整備に関する予算付けについて引き続き配慮していただきたい。
- 要望にはできるだけ配慮していきたい。教室の床張替えなど来年度の予算

付けも意識させていただいた。

- ・商店街のイベントに参加し、様々な人と関わる機会があった。様々な方が町の魅力を発信できることを期待する。
- ・公園の有効活用に期待する。公園は子供たちが遊ぶ場所となっているか。
- ・検定受検の補助拡充を要望したい。
- ・こども家庭センターに期待したい。高校以降の支援が大事、教育と福祉の連携が今後大切になっていくと考える。

(4) 閉会（事務局）